

### 「YOSAKOIソーラン祭り」、初の留学生交流企画 留学生100人と「WAになっておどろう」 －YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会－

「第16回YOSAKOIソーラン祭り」初日の6月6日、午後5時、札幌市大通公園西8丁目会場でのオープニングステージに、鳴子の響きとともに世界各国からの留学生と日本の学生総勢100余名からなる「THE NO BORDER」の熱気がほとばしった。

札幌の初夏を彩るお祭りとなったYOSAKOIソーラン祭りは今回で16回目を迎えた。踊り子が手には鳴子と呼ばれる楽器を持って、音楽にあわせて歌って、踊るこのYOSAKOIソーランを世界にも広げようと地元札幌の大学生たちの実行委員会では、「オープニングセレモニー」で留学生100人と日本の学生100人で、「WAになっておどろう」と呼びかけてきた。同実行委員会では、4月中旬から各大学、留学生センターなどで留学生にYOSAKOIソーラン祭りの映像を流してのプレゼンテーションを行って、参加者を募った。本番前の練習の様子など追いかけて取材した。

天候に恵まれた4月28日(土)、午前中、豊平川の河川敷に留学生20数名、日本人学生100名ほどが集合して、歌や踊りの打ち合わせを行った。すでに踊りの練習に入っているグループもあって、互いに意見を出し合うなど真剣な表情で取り組んでいた。続いて、5月19日(土)、20日(日)には本格的な練習を行った。演舞する学生は楽し気だったがグリーンジャンパー姿の運営担当スタッフたちの真剣な表情が印象深かった。

この留学生企画には、「SAMURAI侍ー(サムライ)」、「YOSASTOMP(力強いリズム)」、「THE NO BORDER(国境なし)」、「イリュージョン」など数グループが合同でステージを彩る。今年の留学生100名「WAになっておどろう」は、留学生と札幌などで学ぶ学生たちが一緒にYOSAKOIソーラン祭りというイベントに参加することを通して、札幌を「留学生が世界一楽しめる場所」にしようという壮大な夢の第一歩でもある。実行委の企画担当、中西浩崇さん(北海道大学工学部2年)は「来年・再来年とずっとこの企画を続けていきたいと考えているので、どしどし連絡ください」と大勢の参加を呼びかけていた。



「THE NO BORDER」－留学生とともに「WAになっておどろう」  
(6月6日 大通公園西8丁目広場 特設ステージ)



集まった留学生と日本人学生が輪になって歌の練習(4月28日 豊平川南9条橋下流河川敷で)



総リハーサルに1,500人名が集合。このあと、参加11グループが演舞を披露(5月20日 豊平川19条橋上流河川敷で)

詳しくは下記までお問い合わせを  
<<YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会>>  
電話:011(746)4351 E-mail :ryuugakusei-kikaku@hotmail.co.jp

(交流部)